



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児玉 和

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長

(氏名) 富岡 修

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

TEL 06-6348-1314

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,804	△2.5	913	29.7	904	7.1	470	△52.0
24年3月期第1四半期	32,624	△1.4	704	△40.2	844	△42.8	979	△5.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △607百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 225百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2.45	2.44
24年3月期第1四半期	5.07	5.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	172,104	108,244	62.2	558.47
24年3月期	168,517	110,197	64.7	568.89

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 106,985百万円 24年3月期 108,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	7.50	7.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,500	3.6	3,600	251.9	3,400	248.7	1,600	180.2	8.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	209,935,165 株	24年3月期	209,935,165 株
25年3月期1Q	18,366,296 株	24年3月期	18,369,686 株
25年3月期1Q	191,567,475 株	24年3月期1Q	193,077,812 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（2012年4月1日～2012年6月30日）における日本経済は、一部に震災復興関連需要や個人消費を中心に底堅さがみられたものの、欧米経済の停滞や中国景気の減速、円高・株安、長引くデフレなどによる所得・雇用環境の悪化に加え、夏場の電力供給問題なども重なり、総じて不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおいては、機能ソリューション事業は、欧米景気の停滞や円高の影響などから受注が減少するなど、総じて厳しい経営環境が続きました。アパレル事業は、低価格・節約志向の継続、大手流通のPB（プライベートブランド）商品の拡大や天候不順などから、全般に苦戦を強いられました。

このような状況のなか、2年目を迎える中期経営計画『Innovation 4S（平成23年度～平成25年度）』の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を展開し、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は31,804百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は913百万円（前年同期比29.7%増）、経常利益は904百万円（前年同期比7.1%増）、四半期純利益は470百万円（前年同期比52.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野では、電力不安等による前倒し受注があったものの、原油価格の下落による先安感の広がりからユーザーの購入抑制傾向が強まり苦戦しました。エンジニアリングプラスチック分野では、半導体関連用途が順調に推移しましたが、OA機器用部材は長引く円高と欧州経済低迷の影響等により需要が停滞しました。電子部品分野は、昨年下半年以降、主力であるPC向け中・大型透過型静電容量方式タッチパネルの受注が回復せず伸び悩みました。メディカル分野は、中国及びアジア地域が堅調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は11,669百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は870百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野では、天候不順や競争激化によりベーシック商品やシーズン商品は苦戦しましたが、ファッション・カジュアル商品などの新商品展開や原価低減などにより収益は改善しました。レグウェア分野は、レギンス・トレンカが苦戦しましたが、新ブランド「Mirica」をはじめ、プレーンパンティストックキングが好調に推移しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は16,857百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は686百万円（前年同期比222.1%増）となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野は、商業施設「ゲンゼ タウンセンター つかしん」が新規テナントの導入や地域密着型の販促に努めましたが、消費の低迷に加え、本年10月リニューアルオープン予定の「にしまち」工事影響などもあり苦戦しました。スポーツクラブ分野は、本年4月に開業した京都店も計画通りに推移し、全体では過去最高の会員数になるなど堅調に推移しました。以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は3,506百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は164百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、172,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,587百万円増加しました。主な増加要因は、商品及び製品の増加1,794百万円、投資その他の資産「その他」の増加1,784百万円（長期前払費用の増加等）、現金及び預金の増加1,185百万円、受取手形及び売掛金の増加808百万円、主な減少要因は、投資有価証券の減少2,314百万円であります。

負債は、63,860百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,540百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加5,960百万円、支払手形及び買掛金の増加1,060百万円であり、主な減少要因は、賞与引当金の減少848百万円、退職給付引当金の減少283百万円であります。

純資産は、108,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,953百万円減少しました。主な減少要因は、その他有価証券評価差額金の減少1,759百万円、配当による減少1,436百万円であり、主な増加要因は、

四半期純利益の計上による増加 470 百万円、為替換算調整勘定の増加 658 百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 3 月期の連結業績につきましては、当第 1 四半期連結累計期間の業績が概ね想定の範囲内で推移していることから、平成 24 年 5 月 14 日に発表した業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う当第 1 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,078	7,264
受取手形及び売掛金	29,547	30,355
商品及び製品	22,190	23,985
仕掛品	7,177	7,613
原材料及び貯蔵品	6,195	6,482
その他	4,224	3,933
貸倒引当金	△21	△7
流動資産合計	75,392	79,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,386	38,350
機械装置及び運搬具（純額）	16,103	15,791
土地	11,907	11,931
その他（純額）	2,349	2,567
有形固定資産合計	68,746	68,641
無形固定資産	1,916	1,909
投資その他の資産		
投資有価証券	12,538	10,223
その他	9,993	11,778
貸倒引当金	△69	△75
投資その他の資産合計	22,462	21,926
固定資産合計	93,125	92,477
資産合計	168,517	172,104
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,013	8,074
短期借入金	4,798	4,970
コマーシャル・ペーパー	19,600	25,400
1年内返済予定の長期借入金	1,077	1,082
未払法人税等	387	559
賞与引当金	1,239	391
その他	9,228	8,752
流動負債合計	43,344	49,230
固定負債		
長期借入金	7,678	7,662
退職給付引当金	2,174	1,891
長期預り敷金保証金	4,737	4,689
その他	384	387
固定負債合計	14,975	14,630
負債合計	58,319	63,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,080	14,080
利益剰余金	79,255	78,331
自己株式	△7,655	△7,653
株主資本合計	111,752	110,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	△1,329
繰延ヘッジ損益	△220	△191
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△2,582	△1,923
その他の包括利益累計額合計	△2,773	△3,844
新株予約権	253	264
少数株主持分	964	994
純資産合計	110,197	108,244
負債純資産合計	168,517	172,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	32,624	31,804
売上原価	23,938	23,198
売上総利益	8,685	8,605
販売費及び一般管理費	7,981	7,692
営業利益	704	913
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	161	124
固定資産賃貸料	161	150
その他	80	58
営業外収益合計	406	337
営業外費用		
支払利息	29	46
固定資産賃貸費用	156	140
為替差損	24	39
その他	56	120
営業外費用合計	267	346
経常利益	844	904
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	2
退職給付信託設定益	1,492	1,170
その他	37	—
特別利益合計	1,531	1,172
特別損失		
固定資産除売却損	86	22
投資有価証券売却損	—	158
投資有価証券評価損	—	321
退職給付費用数理差異償却額	622	650
その他	4	7
特別損失合計	713	1,159
税金等調整前四半期純利益	1,661	917
法人税等	728	501
少数株主損益調整前四半期純利益	933	415
少数株主損失(△)	△45	△54
四半期純利益	979	470

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	933	415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△923	△1,759
繰延ヘッジ損益	△7	29
為替換算調整勘定	222	707
その他の包括利益合計	△708	△1,022
四半期包括利益	225	△607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252	△633
少数株主に係る四半期包括利益	△27	26

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,978	17,618	3,026	32,624	—	32,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	36	208	277	△ 277	—
計	12,010	17,655	3,235	32,901	△ 277	32,624
セグメント利益	1,146	213	168	1,527	△ 823	704

(注)セグメント利益の調整額△823百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリ エイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,620	16,824	3,360	31,804	—	31,804
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	33	146	228	△ 228	—
計	11,669	16,857	3,506	32,033	△ 228	31,804
セグメント利益	870	686	164	1,722	△ 809	913

(注)セグメント利益の調整額△809百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。